

第41回（2020年度）海外子女文芸作品コンクール 募集要項

- 【主催】 公益財団法人 海外子女教育振興財団
 【後援】 文部科学省、外務省、NHK
 【協賛】 (公財) JFE 21世紀財団、東京海上日動火災保険(株)、
 日販アイ・ピー・エス(株)、(一財)日本児童教育振興財団、
 (株)読売新聞社東京本社、クラーク記念国際高等学校

1. 応募資格

本校に所属している小学部、中学部の生徒（※国際クラスは除く）。

（日本の義務教育相当年齢の児童生徒、2005年4月2日～2014年4月1日に生まれた者）

生年月日						応募票に記入する 日本の学年
2013年	(平成25年)	4月2日～	2014年	(平成26年)	4月1日まで	⇒ 小学1年生
2012年	(平成24年)	4月2日～	2013年	(平成25年)	4月1日まで	⇒ 小学2年生
2011年	(平成23年)	4月2日～	2012年	(平成24年)	4月1日まで	⇒ 小学3年生
2010年	(平成22年)	4月2日～	2011年	(平成23年)	4月1日まで	⇒ 小学4年生
2009年	(平成21年)	4月2日～	2010年	(平成22年)	4月1日まで	⇒ 小学5年生
2008年	(平成20年)	4月2日～	2009年	(平成21年)	4月1日まで	⇒ 小学6年生
2007年	(平成19年)	4月2日～	2008年	(平成20年)	4月1日まで	⇒ 中学1年生
2006年	(平成18年)	4月2日～	2007年	(平成19年)	4月1日まで	⇒ 中学2年生
2005年	(平成17年)	4月2日～	2006年	(平成18年)	4月1日まで	⇒ 中学3年生

主催財団による新型コロナウイルスによる影響で学校に通学できない場合等の措置として、応募期間内に日本へ一時帰国中の場合でも、在外教育施設などに在籍中であれば応募資格を有するものとします。該当されると思われる方は、文集係田中までお問い合わせください。

2. テーマ並びに募集部門と点数

(1) テーマ：海外生活を題材にしたものであれば自由。

(2) 募集部門と点数：

1) 作文・詩・短歌・俳句の4部門

2) 1人で何部門でも応募可能。但し、一人あたりの応募できる点数は以下の通り

作文	1人1点	小学生：2,000字以内（400字詰原稿用紙5枚以内） 中学生：3,200字以内（400字詰原稿用紙8枚以内） ※文字数の下限については指定なし。
詩	1人1点	小・中学生とも1,200字以内（400字詰原稿用紙3枚以内）
短歌	1人3点以内	※所定の応募用紙を使用すること
俳句	1人3点以内	※所定の応募用紙を使用すること

3. 締め切り

令和2年（2020）6月20日（土曜日）

文集係田中（yukitmcf.keisho@gmail.com）へ、直接電子データ化した作品を提出して下さい。その際は、JPEGなどの写真ではなく、スキャナー等で取り込んだPDFの形の提出をお願いいたします。機材がなくPDFが作成できない場合は、田中の住所まで手書きの作品を直接郵送していただき、こちらでPDF化させていただきますので、お問い合わせ下さい。（電子データによる財団への直接応募は、今後の郵便状況などによって変更の可能性はあるものの、現時点では受付できないそうです。従って、手書きの作

品をPDFなどの電子データにしたものを印刷し、学校で取りまとめて郵送する必要があります。)

※学校で取りまとめて財団へ提出いたしますので、個人郵送の必要はございませんが、やむを得ない場合は、本校在籍児童生徒が個々に個人応募し学校応募作品とすることができます。その際は必ず「個人応募用紙」の「学校名（在住国在籍）」の欄に本校名（セントルイス補習授業校）を記入するようご指導ください。なお、募集締め切りは日本時間の7月15日財団必着となっております。

4. 応募用紙

所定の原稿用紙、応募票がございます。応募希望の方はこのページ下部のリンクより、原稿用紙・応募用紙を必要枚数ダウンロード・コピーしてお使い下さい。作品は縦書きで、できるだけ、濃く、わかりやすい字で、丁寧に書くようにして下さい（できれば、鉛筆はB以上の濃さがよい）。

(1) 作文・詩

- 用紙は、日本語教室で使用している原稿用紙（ホームページからダウンロード可能）、もしくは、財団ホームページより原稿用紙をダウンロードして使用し、タテ書きで書いて下さい。
- 用紙は表面のみを使用し、裏面は使用しないで下さい。
- 応募作品は、各人各部門ごとに用紙を別にし、1枚の原稿用紙に作文・詩を一緒に書かないで下さい。
- 応募作品には、所定の応募票を作品ごとに添付して下さい。電子データで提出される場合は別個にPDF化したものを添付、郵送の場合はホチキスでは止めず、クリップなどで作品右肩に貼付して下さい。田中がスキャン後、財団指定の平とじ（原稿用紙を広げて右肩の一箇所をホチキスで綴じる）にいたします。

(2) 短歌・俳句

- 作品用紙と応募用紙がひとつになった所定用紙をご使用下さい。

※全ての用紙は、印刷の際にA4サイズか、レターサイズに統一して下さい。

5. 応募上の注意事項

- 応募作品は、応募者本人の創作によるものとします。
- 応募作品は、応募者本人の自筆によるものとします。
- 応募作品は、今回のコンクールのためのオリジナルなものに限ります。
このコンクールの過去の応募作品や、他のコンクールや出版物で発表された作品、さらにそれらを書き直したものは認められません。
- 応募作品は、返却しません。
- 入選作品の著作権・出版権は、主催者に帰属します。

【リンク】

◆各部門の応募票・応募用紙（各小・中学校別）

【作文】

- 原稿用紙：<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/genkoyoshi.pdf>
- 低学年(小学1・2年生)用原稿用紙：
<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/12genkoyoshi.pdf>
- 作文部門応募票（小学生用）：
<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/1sakubun.pdf>
- 作文部門応募票（中学生用）：
<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/2sakubun.pdf>

【詩】

- 原稿用紙：<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/shigenkoyoshi.pdf>
- 低学年(小学1・2年生)用原稿用紙：

<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/12genkoyoshi.pdf>

- 詩部門応募表（小学生用）：<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/1shi.pdf>
- 詩部門応募票（中学生用）：<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/2shi.pdf>

【短歌】

- 短歌部門応募用紙（小学生用）：
<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/1tanka.pdf>
- 短歌部門応募用紙（中学生用）：
<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/2tanka.pdf>

【俳句】

- 俳句部門応募用紙（小学生用）：
<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/1haiku.pdf>
- 俳句部門応募用紙（中学生用）：
<http://www.joes.or.jp/cms/joes/pdf/kojin/bungei/2haiku.pdf>

◆よくある質問：<http://www.joes.or.jp/kojin/bungei/faq>

6. 審査基準

専門家により各作品の次の点に重点を置いて審査します。

- 海外生活での新鮮な感動・実感や経験を踏まえたもので適切な表現がなされた作品であること。
- 年齢（学齢）にふさわしい作品であること。

7. 表彰

- 各部門の優れた作品には、それぞれ文部科学大臣賞をはじめ、海外子女教育振興財団会長賞、日本放送協会賞、協賛者賞の各特別賞が授与され、そのほかに特選、優秀、佳作が選ばれます。ただし、できるだけ多くの児童生徒を顕彰する目的から、以前に文部科学大臣（奨励）賞、または海外子女教育振興財団会長賞を受賞したことがある応募者の同じ部門でのそれぞれの賞の重複受賞はないものとします。
- 入選者には、賞状が授与されるほか、優秀以上には記念楯と優秀作品集「地球に学ぶ」、佳作には記念メダルが贈られます。
- 児童生徒数に比して多数の応募があり、かつ優秀な成績をあげた学校には、学校賞が授与され、賞状のほか副賞が贈られます。

8. 結果の発表

月刊誌「海外子女教育」誌上（2020年11月号予定）にて発表します。

9. 作品集の刊行

作品集「地球に学ぶ」（第41回）を刊行し、優秀作品を掲載します。
（バックナンバーは図書室にございますので参考にして下さい。）

10. その他

不明な点については、各クラス担任、もしくは文集係の田中（チャレンジ担任）までお問い合わせ下さい。（田中連絡先：yukitmcf.keisho@gmail.com）

詳細につきましては、財団ホームページをご参照下さい。

<http://www.joes.or.jp/kojin/bungei>

《よくある質問》

Q 1 : 作文は、400 字詰め原稿用紙でないといけないですか。

作文は、字数制限があるだけです。原稿用紙は 400 字詰め以外のものでも結構です。
その場合、[本校指定の原稿用紙](#)を使用してください。

Q 2 : 短歌・俳句の用紙はA 4サイズに統一するとありましたが、アメリカではLETTERサイズの紙しかありません。

レターサイズで結構です。あるいはA 4サイズ (210mm×297mm)に近い用紙でお願いいたします。

Q 3 : 「応募票」はダウンロードして使用とありますが、記載は手書きでなくてはならないでしょうか。

作品は手書きであることを条件としていますが、応募票はその限りではありません。
コンピュータで出力したものでも結構です。

Q 4 : 日本では小学3年生ですが、補習校では小学2年生に学年を落として通学しています。 応募票には、どちらを書けばよいでしょうか。

「年齢(学齢)にふさわしい作品であること」を審査基準のひとつにしています。
審査は、生年月日を元にした「日本の学年」を参考に行われます。
各作品に添付していただく応募票には、「日本の学年」と「在籍校での学年」の両方を書いてください。また、応募リスト、集計表には「日本の学年」を記入してください。

Q 5 : 日本では小学6年生ですが、現地校ではミドルスクールの6年生に在籍しています。 応募票は、小学校用あるいは中学校用のどちらを使用すればよいでしょうか。

「年齢(学齢)にふさわしい作品であること」を審査基準のひとつにしています。
審査は、生年月日を元にした「日本の学年」を参考に行われます。
各作品に添付していただく応募票は、「日本の学年」に従って小学生用の応募票を使用してください。

Q 6 : ワープロ(パソコンなど)で書いた作品でも応募できますか。

応募作品は「応募者本人の自筆によるもの」とさせていただいています。
「自筆」の解釈に多少ゆれがあるようですが、当コンクールでは本人の直筆で、コピーしたものではないもの(=原本)と解釈しています。
コピーやスキャンデータ、ワープロでの作品応募は不可となっています。
自筆原稿が提出できない場合は、その旨理由を明記してご応募ください。
ちなみに、鉛筆はB以上の濃いものを使って、きれいな字でなくても、判りやすく丁寧に書きましょう。

Q 7 : 本コンクールは必ず提出しなければいけませんか？

いいえ。しかし、海外に住んでいるからこそ伝えたい想いを表現する良い機会です。
みなさん、ふるってご応募ください。

以上